

見学会報告

消費者の会の今年度第1回のバス見学会を7月30日32名の参加で実施しました。

①セレモニュータウン小室駅ホール。

社長室次長の方から、お葬式の費用について、会館を利用した場合（大きなホール使用と少人数の家族葬）、家庭で行う場合、また火葬場へ直送で行う場合などについて聞き、セレモの各会場を見せていただきました。

地方からきた人や、自分一人なのでお墓を持たないと言う人のために、隣に釈迦寺というお寺があり、納骨堂を併設していて、ご住職からお話を伺うこともできました。

会食室をお借りし、お願いしていた食事をそこでいただきながら、皆さんの自己紹介も兼ねて、感想なども出しました。その中からいくつかを記します。

- ・葬儀については、大抵は大事な人が亡くなって何も考えたく無い時に進めなければならないので、こちらの希望など出せないが、事前にこういう勉強ができて、とても参考になった。
- ・葬儀は簡単にと思っていたが、どの位の金額の差があるのか今回わかったので、家族とも話し合っておきたい。
- ・宗派によってはお坊さんの意向を強く言われるところがあるが、あくまでも家族が主体で良いと思う。
- ・生前契約や永代供養などもできると知って、少子化の時代の要求があるのだと思った。

なお、ご案内いただいた次長から、不明な点やもっと詳しく知りたいことがあれば、資料

に同封していた質問用紙で、お問い合わせくださいと、連絡が入っています。ご質問は、9月の定例会にご持参ください。栗原さんを通して答えていただきます。

②ブルーベリーの岩佐農園。

無農薬栽培のブルーベリーを自分で摘み取って食べ、小容器一杯をおみやげに。陽の当たっているブルーベリーは甘いと、改めて太陽の恵みを実感しました。

会からの支出はガソリン代と運転手さんの食事代その他。市のバスが使用できるので、充実した見学会ができます。次回もどうぞご参加ください。

9月定例会は14日

9月14日（月）13:30～16:00

我孫子南近隣センター 8F第1会議室
千葉県消費者団体連絡協議会との都合で、1週間延びました。お間違いなく。

定例勉強会は「みんなで作る平和宣言」

- ・あなたが平和だと感じることは何ですか。
- ・平和でないと感じることは何ですか。
- ・平和であるために何をしたら良いですか。

これは、我孫子市の中学生代表も参加した長崎市青少年ピースフォーラムでやったことです。グループごとに宣言文を作ってみましょう。

高齢社会への対応を探る会映画会

先月号で10月3日のイベントのお知らせをしました。その時の講師である松原惇子さんのドキュメンタリー映画「わたしの葬送日記」の上映会を9月に3回開きます。別紙チラシをご覧の上、いずれかの会場で、是非ご覧ください。

根戸新田問題 経過報告

先月お知らせした根戸新田問題のその後をお伝えします。

- ① 7月13日、市は県と農振地域解除の下協議。
- ② 7月27日、県の農林関係10課に市が計画の説明、3課から厳しい意見。
- ③ 7月30日、市はその回答をつけて、農振協議会に諮り、10対4で解除を可決。
- ④ 7月31日、市は県に対し申請書提出。

ここまで書くと、もうダメなのかと思われるかも知れませんが、私たちはあきらめてはいません。今後も報告します。

総会時の市民活動紹介から

(発表順に報告を続けます)

⑤ 社会福祉法人エスポワールわが家

10年前に栗原洋子さんを中心に立ち上げた社会福祉法人。今は、デイサービスあらかのお家と、グループホームあらかのお家、グループホーム南新木のおうちの3つを運営しています。認知症のお年寄り専門です。

理事長は栗原さんのご主人栗原徹さん。栗原洋子、和田三千代、加藤マリ子、伊勢利江、濱田洋子も理事や運営推進委員の一員として協力しています。

認知症の方が安心して暮らせる時間をと、スタッフ一同が細やかな対応をしています。家庭や、他の施設で落ち着かなかった方も、顔が違ってくると、市民からも評価されています。ボランティアとして来ていただくと、実状を知る機会にもなります。

栗原-7184-5480

10周年記念誌及び作品展覧会と認知症サポーター養成講座のチラシを同封します。

⑥ 高齢社会への対応を探る会

我孫子市の社会教育ゼミナールから出発。1986年に映画会を実施以来24年目に。今年度は市内の23団体の参加と、市役所の関係する7課がオブザーバーとして協力。我孫子市の高齢社会問題の解決に向けて大きな力を発揮してきたと言っても過言ではないでしょう。

消費者の会でも団体として参加しています

ので、情報は常にこのお知らせに書いていますが、毎会テーマを決めて勉強会等も行っていきますので傍聴希望の方は加藤さんに連絡を。

役員は回り持ち。今年では会長・福田禎子、副会長・栗原洋子、事務局・加藤マリ子、事務局補佐・伊勢利江、会計・森滋、監事・鈴木恭一、秋元政志。原則として第3水曜日に定例会。問い合わせは、加藤 7105-5292

⑦ エコピュアあびこ

平成5年3月設立の我孫子市のごみ減量を目的とした会です。会員は高齢化のためかどんどん減っていき、現在は220名。若い人が入らないのが悩みです。

会員としての活動は、小規模作業所おおばんで作っているボカシを使って、各家庭から出る生ごみを発酵堆肥にし、家庭菜園や花壇に使用しています。

会としての活動は、湖北駅北口に50個のプランターを設置し、季節の花を植え、管理しています。

また、クリーンフェスタでは、生ごみ堆肥を使った「花の寄せ植え体験」を行ったり、我孫子市消費生活展や市民活動フェアにも参加しています。会員募集中。渡邊 7182-4123

*会長の渡邊さんはエコバッグ制作の達人

老人ホームへ衣類等を

会員の竹中真里子さんからの依頼です。

「私が活動している「NPO 法人 VAIC コミュニティアケア研究所」に相談がありました。柏市にある、生活保護の高齢者をたくさん受け入れている「アソウケアホーム」のケアマネさんからお願いがあり、家庭で着られなくなった洋服や下着、タオルなどを譲っていただけないかとのことでした。男性の方が多いということです。どんなによれよれしたものであってもいただけたらありがたいとのことです。」

と言うわけです。協力していただける方は、9月と10月の定例会にお持ちください。また、それ以外の方は、竹中さんに直接連絡してください。携帯 090-2638-4587



わたしの葬送日記



◆えっ！ 戒名代300万円？

松原惇子の実録奮闘記

◆何でこんなにお金がかかるの！

父の葬儀を出すことになったノンフィクション作家の松原惇子さん。突然の死を悲しむ暇もなく、次々に事を処理していかなければならない現実と直面。「えっ！戒名代300万円？」だったら戒名なしでお願いしましょう。それを聞いた住職は通夜の席で「帰る！」と言い出します。さて・・・

<お知らせ> 10月3日（土）午後1：00～ けやきプラザふれあいホール（我孫子駅南口）で

「高齢者を地域で支えるネットワークづくり」をテーマにイベントを行います。松原惇子さんの講演も予定しています。誰もが迎える高齢期ですが、安心とは言い難い現実。

上映日程

駐車場が限られています。バス・電車等の利用にご協力

9月 9日（水）午後7：00～8：30 先着170名

湖北台近隣センターホール（受付午後6：30～）

9月10日（木）午後2：00～3：30 先着120名

近隣センター「ふさの風」ホール（受付午後1：30～）

9月12日（土）午後4：00～5：30 先着150名

生涯学習センター「アビスタ」ホール（受付午後3：30～）

主催：我孫子市 企画運営：高齢社会への対応を探る会
<問い合わせ先> 事務局 加藤 ☎04-7105-5292